

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 GALAXY (MERCURY/VENUS/JUPITER/MARS)	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
---	---------------------	--------------------------

RG **2.490** ΔRG **0.046**

- ピン
- ★ PAP
- × CG
- バランスホール

比較対照ボール：ギャラクシー

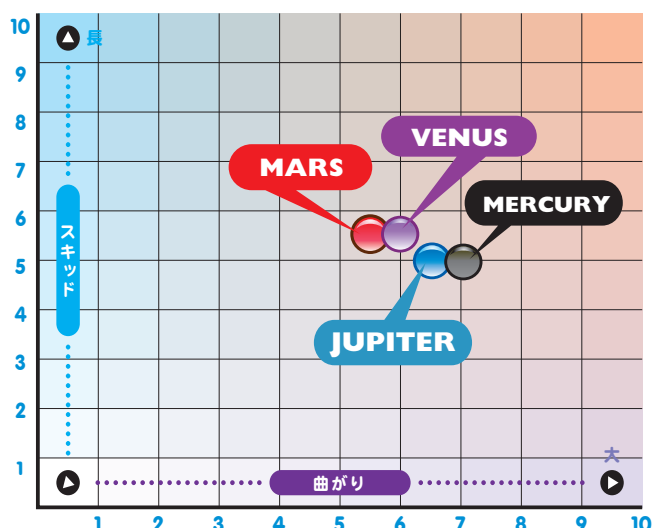
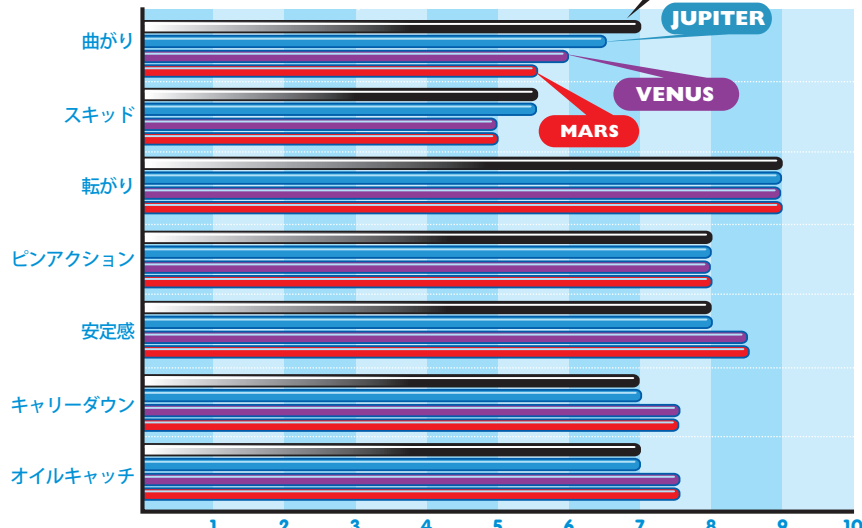
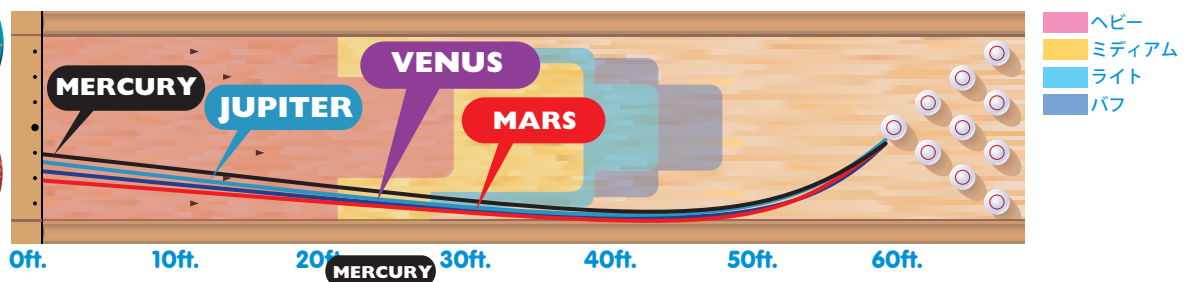
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil Light to Medium Medium Oil Medium to Heavy Heavy Oil	Smooth Smooth to Arc Arc Arc to Sharp Sharp Angle	Early Roll Early to Med Med-Lane Med to Late Late Roll

ボールの評価

Nanodesu Accu-Line Premium、今なお発売と同時に売れに人気のあるPremium SeriesはPremium CoreなくしてはPerformanceを実現することは出来ません。その ACCUシリーズで最も人気のあるPremium Coreをこの価格帯で贅沢に搭載致しました。GalaxyとNanodesuの根本的な違いはCoverstockにあり、Galaxyは国産リアクティブ素材を主原料として作り上げられています。開発コンセプトは”後半のコンディションで最大の武器になる”ことです。CoverstockにはABSolution FLEXで使用されたFLEX Cover Stockに特殊添加物を各々に混入し、カスタマイズしたGXカバーを新たに開発しました。

Mercury(マーキュリー)、Jupiter(ジュピター)、Venus(ヴィーナス)、Mars(マーズ)は各々特殊添加物の配合比を変え、表面仕上げを変えて4種類から構成して様々なタイプのボウラーに対応しています。このGalaxyシリーズはTeam Nanodesu Captainの田坂大輔プロと開発を進めてきましたが、田坂プロはJupiterの開発段階で800 Seriesを2回と750を超えるSeries2回立て続けに出しています。田坂プロ曰く、「やや遅くなったコンディションでこれ以上のイメージを取れるボールはありません」等、私が見ていても投球するラインに対しての幅とピンを飛ばせる幅の広さが別格で、あのNanodesu Premiumのイメージをそのまま遅くなったコンディションでGalaxyに置き換えていると確信しました。もちろん今までと同様に国産のボールはすべてに衝撃吸収コアシステムを採用していることは言うまでもなく、Coverstockにも低架橋密度構造にしてピンアクションをさらに高めています。これほどの構造でこの価格帯は他では見つけれないほど様々なTechnologyを盛り込んでいます。ボウラーのタイプにあわせ、どれか一つをバッグに入れて勝負できる準備を整えてください。

特記事項

ボウラータイプにあわせて4種類のスペックを用意しました。このボールがあれば積極的にラインを攻め、後半打ち上げることができるでしょう。